

石川県能登島ガラス美術館だより 第17号



ひそやかに 南佳織 2000年



展示室D



未来へ 飯田尚央 2002年



ガラスのなかの瞬間 奥野美果 2002年

現在開催中の展覧会

能登島ガラスコレクション展「現代ガラス造形 ～白と青の透明な美～」

会期：2010年12月4日(土)～2011年4月17日(日) 休館日：年末年始、毎月第3火曜日、改修工事期間[2011年2月21日(月)～3月10日(木)臨時休館]

今回の能登島ガラスコレクション展は、現代ガラス造形の透明な美をテーマに、当館の収蔵品約30点を紹介しています。

一口に透明といっても、無色透明な作品もあれば青や緑の作品もあり、表面に曇りがなく内部が透き通って見える状態から、表面がすりガラス状で、光が透けて見える状態のものまでいろいろあります。透明な現代ガラス作品は、この「透明」であることを活かした様々な表現が凝らされています。「未来へ」という作品は、お互いから

まり合う十数本の渦巻くガラス棒を無色透明にしたり、すりガラスにしたり、細かな筋をつけたりと様々に加工することで、作家の周囲の人々や環境を表した作品です。中心のガラスのかたまり部分から伸びる芽のような部分は、作者自身を象徴しているのだそうです。これから未来に向かってどう輝くのか、という将来への迷いや希望を表現した作品になっています。

「ガラスの中の瞬間」は、無色透明な4つのガラスブロックの中に何かが見たよ

うな瞬間的な激しい動きを無色透明な内部空間の輝きで表現した作品です。

「ひそやかに」は、繊細で凛とした結晶状の華の部分とそれを頂く笹舟状の部分がすりガラスの穏やかで静かな輝きを放ち、幻想的な雰囲気や神秘性を高めています。

その他にも、天空や宇宙、大地など壮大な時空を表現した作品もあります。

いずれも、透明なガラスだからこそ表現できる、純粋で深みのある様々な作家の世界観が広がっています。

平成23年度の事業計画

平成23年度事業テーマ

開館20周年を記念して

石川県能登島ガラス美術館は、平成23年7月29日(金)に開館20周年を迎えます。今年は、改めて当館の収蔵品や建物の良さを見つめなおし、新たな魅力を創出しようと、展覧会やイベントを企画しました。これまで以上に、多くの方々が来館して憩える、楽しめる、感動する美術館であり続けられるよう、サービスの向上を目指していきます。

平成23年度の展覧会事業

- 開館20周年記念企画展「中国清朝のガラス工芸～皇帝が愛した玻璃の器～」
会期：2011年4月23日(土)～6月26日(日) 休館日：5月17日(火)



「白地紅被唐子文蓋付壺」中国清朝 18世紀
サントリー美術館所蔵

中国清朝のガラスは、色の異なる鮮やかなガラスを層状に重ねて彫刻を施す被せガラスを特徴とするガラス工芸です。

その独特な色彩と浮彫装飾は、世界のガラス工芸史の上でも異彩を放ち、ガラス界の巨匠エミール・ガレにも大きな影響を与えました。現在、そのほとんどが中国本国から日本やヨーロッパに散逸しています。

国内屈指といわれる当館のコレクションに他館からの優品を加え、中国清朝時代に作られたガラス工芸の粋約170点を紹介します。

- 開館20周年記念企画展「鏡のアート」
会期：7月2日(土)～9月4日(日) *会期中無休



「Fragments」本郷 仁 2008年 富山市所蔵

日常身近で、幻想的なガラス造形の魅力を最も強く感じさせる鏡をテーマに、光のアートともいふべき現代万華鏡と、本郷仁氏の現代ガラスアートを紹介いたします。

現代万華鏡の作家たちと現代ガラス作家本郷仁氏によって仕掛けられた現実の断片が無限に展開する幻想的で不思議な異空間を体感できます。

また、夏休みのイベントとして行う様々な催しもお楽しみください。

- 開館20周年記念特別展「～ピカソ、シャガール、ダリ～ 巨匠たちとガラス」
会期：2011年9月10日(土)～11月6日(日)予定 *休館日 10/18(火)



「おどけたフクロウ」1962年
エジディオ・コスタンチーニ
(パブロ・ピカソの陶芸作品をもとに)

当館収蔵のピカソやシャガール、ダリのデザインをもとに制作されたガラス造形を、同じ巨匠たちの絵画や彫刻、陶芸作品と一緒に紹介する北陸初の展覧会です。

ピカソ、シャガール、ダリなどの巨匠たちがガラス造形にかかわったのは、1950年～60年代です。イタリア人のエジディオ・コスタンチーニがヴェネツィアのガラス工房で、アール・ヌーヴォーからの老舗ドーム社がフランスで、ガラス工芸をアートに高めようと、デザインを巨匠たちに依頼しガラス造形を制作しました。

世界的に見ても稀有なコレクションを同じ巨匠たちの作品とともに紹介します。

- 「能登島ガラス美術館20年のあゆみ」(仮題)
会期：2011年11月12日(土)～2012年4月中旬予定



「IMPERFECT FOR YOU」キャロル・ミルネ 2010年

開館して20年。当館は、これまで現代のガラス造形を中心に、収集展示を行ってきました。今回は、その展覧会についてパネルで紹介しつつ、現代ガラス造形を楽しむ見方をテーマに、近年新たに所蔵した作品を紹介します。

平成23年度の普及事業

- ワークショップ事業変更のお知らせ

これまで、「ワークショップ」として、ガラスを用いた気軽な創作体験教室を様々に行ってきましたが、美術館館内での案内サービスや展覧会関連イベントの充実のため、開催方法を見直し、「ワークショップ」は、平成23年度4月から以下のように行うことになりました。

なお、ワークショップカードは、引き続きご利用いただけます。

詳細については、当館へ電話でお問い合わせください。

①わくわくワークショップ

ほぼ毎月一度、土曜と日曜の2日間、館内で行っていた子供から大人まで気軽に取り組めるガラスを用いた工芸体験教室。



平成23年度 夏休み期間のみ実施

②のとじまガラス・スタイル

不定期に行っていた、おもに大人の女性を対象にした生活を楽しむためのガラスを用いた創作的体験教室。



平成23年度 10月から12月に数回

③ガラ美キッズ

おもに小学生以下の子供を対象に、当館の活動やガラス作品の良さについて広く知り、理解してもらうための館長・学芸員の職場体験。



平成23年度 現状どおり夏休みに実施

④リクエストワークショップ

12月から3月、団体入館者の予約に合わせ館内で行う展示案内付の気軽なガラス工芸体験教室。受付可能な人数は、7名以上40名まで。展示案内は学芸員が行う。メニューは、ガラス彫刻、モザイク貼り付け、ガラス絵付けがある。



平成23年度 12月から2月へ時期を狭めて行う。

⑤出張ワークショップ

12月から3月、七尾市民を対象に、市内の公民館などへ出張して行う気軽なガラス工芸体験教室。メニューは、ガラス彫刻、モザイク貼り付け、ガラス絵付けがある。11月の七尾市の市民文化祭には、市内の文化施設へ出張していた。



平成23年度 出張は行わず、ガラス彫刻の道具貸し出しサービスへ移行

平成22年度の事業報告

平成22年度の主な展覧会事業

●企画展「片岡鶴太郎ガラス作品展」

会期：2010年4月24日(土)～6月27日(日) 入館者数：15,579人



テレビや映画だけでなく多彩な芸術活動でも活躍されている片岡鶴太郎氏のガラス作品を中心に人気の墨彩画や、輪島や山中で制作した石川県ゆかりの漆芸作品を加えた約100点を紹介しました。

片岡氏には、トークショーとサイン会の他、能登島ガラス工房で花器を1点制作していただきました。

多くの方々が、片岡氏が描く鮮やかな彩りと軽やかなタッチの愛らしいガラス絵や、金沢の金箔を散りばめた豊かな彩りの花器に心を和ませていたようです。

●企画展「ガラスの水族館ーガラスのいろ・かたちの不思議ー」

会期：2010年7月3日(土)～9月26日(日) 入館者数：18,836人



8月下旬、近隣にあるのとじま水族館にジンベエザメがやって来るのを記念して、魚や海の生物をモチーフにしたガラス作品を展示しました。

現実の生き物にも負けない生き生きとした色鮮やかな魚たち、尾ひれが動くメカニカルな魚や想像上の不気味な深海生物などが水槽ならぬ保護ケースに陳列され、楽しいガラスの水族館になりました。

夏休みのお盆期間中には、金沢美術工芸大学の学生さんたちが来館者に呼びかけて、ガラスの窓に小さなセロファンを貼り付け、巨大なジンベエザメを泳がせてくれました。

平成22年度の主な普及事業

●文化庁平成22年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業 「ガラスを楽しもう！子供たちのための体験学習プログラムの開発と実践」

体験実施時期：2011年1月27日(木)、28日(金)、2月1日(火)、22日(火)

対象：七尾市内中学校4校(香島、能登島、田鶴浜、中島)・各校1年生のみ全200名



今回の体験事業は、ガラスが「溶けて固まる」瞬間の動きをテーマにし、対象校を4校に増やし、職員が学校へ出張して行うメニューと、学校が美術館と工房に来館して行うメニューとの2つを用意し、学校の希望に合わせて行いました。

ガラス作家と学校へ出張して行ったバーナーワーク体験は、たいへん好評で、生徒たちや先生方から「ガラスって柔らかい！」という実感の声が聞かれ、大きな成果となりました。

●七尾市指定有形文化財室木邸・通称「明治の館」の蔵より発見された古いガラス器の調査

調査実施日：2010年9月14日(火)、15日(水) 調査場所：室木邸の蔵の前



能登地震で被災した「明治の館」と呼ばれる旧家の改修に伴い、一昨年、蔵が整理され、古いガラス器が発見されました。

調査は、当館が七尾市教育委員会文化財課とともに神戸市立博物館の主幹で学芸員の岡泰正氏に協力を求め、ガラス器の寸法や比重を測定しました。

その結果、江戸末期と推定される切子戯文ガラス鉢などが伝世していたことが確認されました。

平成22年度 ガラス美術館の足あと

5月5日(水・子供の日)

わくわくワークショップ「ガラス絵を描こう」

5月7日(金)

片岡鶴太郎氏、能登島ガラス工房にてガラス制作

ここをもって
こうして…



5月8日(土)

片岡鶴太郎氏トークショー&サイン会

(道の駅のとじま共同事業)

5月15日(土)、16日(日)

わくわくワークショップ「ガラスの器に絵を描こう」

6月18日(金)、19日(土)

のとじまガラス・スタイル

「ガラスでハーブティーを楽しもう」

フレッシュ
ハーブの香りで
リラックス



7月17日(土)

ガラ美キッズ「1日こども館長」

ようこそ!!
美術館へ!



7月17日(土)、18日(日)

わくわくワークショップ

「ガラスとワイヤーで作る お魚アクセサリー」

7月19日(月・祝)

わくわくワークショップ

「海の日イベント! シー・グラスで作る「海の小物」」

8月7日(土)、8日(日)

ガラ美キッズ「1日こども学芸員」

8月11日(水)～15日(日)

ガラ美キッズ「夏休みはガラス美術館で! 透明おもちゃで遊ぼう」

バーナーワーク

デモンストレーション

ガラスで
何ができるかな?



9月24日(金)、25日(土)

のとじまガラス・スタイル「芸術の秋はガラスで! 吹きガラス体験&ガラス作品鑑賞」

10月30日(土)、31日(日)

わくわくワークショップ「お楽しみワーク」

国際ガラス展・金沢2010に入選した岸本耕平氏によるワークショップ

どんな形に
なったかな?



12月11日(土)、12日(日)

わくわくワークショップ

「ガラスで彩るクリスマス ジェルキャンドル作り」

中山明美
さんの
ワイヤー
ツリーに
飾りつけ!



2月18日(金)・19日(土)

のとじまガラス・スタイル

「ガラスで楽しむ
中国茶&中国結び」



所蔵品の紹介

扇田克也

SUNRISE/SUNSET (日本) サンライズ/サンセット

(1994年～1995年)



一抱えもある大きな卵形のガラスの塊は、水彩画のように薄く青味がかっており、表面がすりガラス状であるため、淡く、やさしい光に包まれています。上部にある鉛筆で引いたような短い線や水彩画の具を塗ったような不定形の円は、子供が描いたように一見稚拙ながら、いずれも微妙なバランスで配されています。

輝きの優しさ、不定形の形の、色や線のかわいらしさから、軽く両手を広げて抱えたいくなるような愛らしさや親しみが感じられます。

作者の扇田克也さんは、石川県在住の作家です。扇田さんはこれまで、ガラスの冷たく割れやすいというイメージを覆すような、温かみと量感のある作品を制作してい

ます。

作品のタイトルの「サンライズ/サンセット」は、宇宙の営みとしての日の光を象徴し、作品の色や線は、絶えず変化する空模様を表現しているようです。

作者は、このダイナミックな宇宙の中で、なんでもない日常が繰り返されていることの不思議さや、有難さ、不安定ながらもある種の関係においてはバランスを保っている神秘を実感していると言います。なんでもない日常が、二度と戻らない、とてもいとおしい瞬間の連続であるという想いを作品に託したとのこと。

この作品は、日ごろ見落としがちな平凡な日々への感謝のような想いを気付かせてくれる作品といえるでしょう。

ショップ&カフェ情報

ミュージアムショップ

GLASS SILICA グラス・シリカ

“シリカ”はガラスの原料のこと。店内はガラスアイテムでいっぱいです。

★スタッフのおすすめ



開館20周年を記念して、スーパーパティシエ辻口博啓さんがプロデュースした地元のお店「ルミユゼ ドゥ アッシュ」が当館のために作ったオリジナルサブテです。 ¥735-

地元作家 有永浩太さんグッズ



洗練された色合いと柔らかなフォルムが魅力の一輪ざしです。

收藏作家 松浦あかねさんグッズ



ガラスとは思えない不透明なトンボ玉ですが、手触りでガラスの上質な重みを感じさせる逸品です。

レストカフェ

玻璃 (はり)

展覧会をご覧になった後は、レストカフェでのんびりとティータイムが楽しめます。



★スタッフおすすめメニュー

白玉もなかソフト ¥530-

サクサクもなかでソフトクリームを包み、白玉とあんを添えた“和風すいーつ”です。



インフォメーション

《入館料》

個人 (高校生以上) 800円
団体 (20名以上) 700円
中学生以下 無料

*ミュージアムショップ、喫茶店は、入館が無料です。
*各種割引については、直接お問合せください。

《休館日》

展示替え期間中
展示替えのない月は、毎月第3火曜日
(祝日の場合は翌日休)
年末年始 (12月29日～1月1日)
8月は無休

*お出かけの際は、直接お問い合わせくださるか、当館HPでご確認ください。
*ミュージアムショップ、喫茶店の営業も美術館と同じです。

《開館時間》

4月～12月 午前9時～午後5時
1月～3月 午前9時～午後4時30分

*入館は、閉館時間の30分前までに
*ミュージアムショップ、喫茶店の営業時間も美術館と同じです。
*屋外庭園は、閉館後に閉園します。

《交通案内》

自動車：能登有料道路の徳田大津JCTを経由し、能越自動車道の田鶴浜料金所を過ぎ、和倉ICで左折し、約20分。

電車・バスで：JR金沢駅から和倉温泉駅まで特急電車で約1時間。和倉温泉駅で下車し、駅前から能登島交通「のじま臨海公園行き」バスに乗りして、約30分。「美術館前」で下車すぐ。

飛行機で：能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間30分。(要予約、片道1,300円)

石川県能登島ガラス美術館だより
第17号 平成23年3月発行

編集・発行
石川県能登島ガラス美術館

〒926-0211
石川県七尾市能登島向田町125-10
TEL (0767) 84-1175 FAX (0767) 84-1129
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/index.html>